

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/10

問1 飛鳥時代に推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）が、役人の政治に対する心がまえを説くために制定した法は何ですか。「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗となせ」という、人々の和を尊重し、争わないことを第一に掲げたものを選びなさい。（2022年 沖縄公立入試 類似）

1. 十七条の憲法 2. 五箇条の御誓文 3. 御成敗式目 4. 武家諸法度

問2 7世紀初頭、聖徳太子らが進めた国家づくりにおいて、大陸から伝わった仏教が果たした役割とその文化的な特徴について説明したものと、最も適切なものはどれか。（2017年 佐賀公立入試 類似）

1. 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。 2. 遣唐使が廃止されたことにより、日本の気候や生活に合わせた独自の貴族文化が発達した。 3. 大宝律令の制定により全国が統治され、国家の安泰を願って東大寺に大仏が造られた。 4. 稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、卑弥呼が中国の魏から金印を授かった。

問3 推古天皇の治世における出来事として、聖徳太子や蘇我馬子とともに進められた政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 静岡公立入試 類似）

1. 冠位十二階の制定、十七条の憲法の公布、遣隋使の派遣 2. 大宝律令の完成、平城京への遷都、和同開珎の鑄造 3. 公地公民の制、班田収授法の実施、防人の設置 4. 検地の実地、刀狩令の公布、身分統制令の発令

問4 大化の改新において、土地や民をそれまで支配していた有力な豪族から取り上げ、国家（天皇）が直接支配するものとした制度を何と呼びますか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

1. 公地公民 2. 版籍奉還 3. 班田収授の法 4. 守護・地頭

問5 7世紀の日本における政治的な変遷をたどると、645年に蘇我氏を打倒した「乙巳の変」をきっかけに大きな改革が始まりました。この改革の中心人物であり、後に近江大津宮で即位して天智天皇となった人物は誰ですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 中大兄皇子 2. 聖徳太子 3. 中臣鎌足 4. 大海人皇子

問6 日本の歴史的な建築物に関する説明において、奈良県に所在し、飛鳥文化の特色を今日に伝える「世界最古の木造建築物」を指す名称として正しいものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 唐招提寺 4. 平等院

問7 七百一年に制定され、唐の法律をモデルとして日本で初めて本格的に全国を統治する仕組みを整えた法律を何といいますか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 大宝律令 2. 養老律令 3. 十七条の憲法 4. 近江令

問8 聖徳太子らが603年に定めた「冠位十二階」という制度の目的を説明したものと、最も適切な記述を選びなさい。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 家柄や氏族の勢力に関わらず、個人の才能や功績に応じて優秀な人材を役人に採用すること 2. 自ら新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に私有することを認めること 3. 天皇の権力を制限するために、有力な豪族たちが話し合いで政治を行う仕組みを作ること 4. 仏教を国家の教えとして広めるため、各地に国分寺や国分尼寺を建立すること

問9 645年に始まった大化の改新では、天皇を中心とする新しい国家体制の構築が目指されました。この改革において、遣隋使や遣唐使として中国に渡り、大陸の進んだ政治制度や法律を学んで帰国した留学生や学問僧が任命された、政治の助言を行う重要な役職の名称として正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 国博士 2. 検非違使 3. 執権 4. 防人

問10 大分県などの九州地方の歴史を記した年表において、倭国（日本）の軍勢が朝鮮半島へ出兵し、唐・新羅の連合軍に敗れた「白村江の戦い（663年）」が含まれる区分として、適切な世紀を選びなさい。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 6世紀 2. 7世紀 3. 8世紀 4. 9世紀

答え合わせ・解説

問1	答え 1 十七条の憲法	聖徳太子は、冠位十二階の制定とともに「十七条の憲法」を定め、天皇を中心とする中央集権国家の基盤を整えようとした。この法は現在の憲法とは異なり、役人が守るべき道徳的な訓戒としての性格が強く、特に第一条で説かれた「和」の精神は、豪族間の争いを鎮める意図があった。
問2	答え 1 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。	飛鳥時代には、小野妹子ら遣隋使が派遣され、大陸の高度な文明が積極的に導入されました。これに伴い、寺院建築の技術や彫刻の技法ももたらされ、それまで日本になかった本格的な仏教文化が飛鳥の地を中心に花開きました。他の選択肢にある国風文化は平安時代、大仏建立は奈良時代（天平文化）、卑弥呼は弥生時代の出来事です。
問3	答え 1 冠位十二階の制定、十七条の憲法の公布、遣隋使の派遣	推古天皇・聖徳太子・蘇我馬子の協力体制下では、才能ある人材を登用する「冠位十二階」（603年）、役人の心得を説いた「十七条の憲法」（604年）、そして対等な外交を目指した「遣隋使」の派遣が行われました。これらはいずれも、飛鳥時代における国家基盤を強化するための重要な事例です。
問4	答え 1 公地公民	それまでの日本では、豪族がそれぞれ「部曲（かきべ）」や「田荘（たどころ）」と呼ばれる民や土地を私有していましたが、これを天皇が支配する公的なものへと改めました。これにより中央集権化が進み、税（租・庸・調）を効率的に集めるための戸籍作成や、口分田を割り当てる班田収授の法の土台となりました。
問5	答え 1 中大兄皇子	蘇我入鹿を倒して権力を奪還した中大兄皇子は、中臣鎌足らとともに「大化の改新」と呼ばれる政治改革を推進しました。この改革は、豪族中心の政治から天皇を中心とする中央集権国家への転換を目指したもので、中大兄皇子はその後、正式に天智天皇として即位しました。
問6	答え 1 法隆寺	奈良県斑鳩町にある法隆寺は、7世紀初めの飛鳥文化を象徴する寺院です。東大寺や唐招提寺は奈良時代の天平文化を代表する建築であり、平等院鳳凰堂は平安時代の国風文化を代表するものです。法隆寺の西院伽藍は、世界で最も古い木造の建物として国際的にも高い価値が認められています。
問7	答え 1 大宝律令	唐の進んだ政治体制を参考に、刑罰を定めた「律」と政治の決まりを定めた「令」を整備したものです。この法律の完成により、天皇を中心として全国を組織的に支配する中央集権的な律令国家の仕組みが確立されました。
問8	答え 1 家柄や氏族の勢力に関わらず、個人の才能や功績に応じて優秀な人材を役人に採用すること	冠位十二階は、世襲によって官職が独占されていた当時の慣習を打破し、実力主義を取り入れることで天皇への忠誠心を高め、官僚制を確立しようとした制度です。冠の色を12段階に分けることで、視覚的にもその人物の地位が判別できるようになっていました。
問9	答え 1 国博士	飛鳥時代の海外交流に関する記録によれば、遣隋使や遣唐使に同行して大陸へ渡った人々の中には、長期間滞在して現地の高度な統治システムを学ぶ者がいました。彼らは帰国後、その知識を高く評価されて「国博士（くにのはかせ）」という役職に就き、大化の改新における律令国家建設に向けた理論的な指導者として活躍しました。
問10	答え 2 7世紀	白村江の戦いは西暦663年に発生しました。西暦601年から西暦700年までの期間が7世紀に該当するため、この戦いや、その直後に強化された九州の防衛（水城や大野城の築城など）は、すべて7世紀の出来事として分類されます。